

## 欧米諸国の近代化

### <近代の思想>

17、18世紀のヨーロッパでは①\_\_\_\_\_にかわってイギリスや②\_\_\_\_\_が台頭し、積極的に産業を育成し軍備を整え海外に進出。

### 啓蒙思想の広まり

イギリス

③\_\_\_\_\_：「<sup>しゃかいけいやくせつ</sup>社会契約説」 人間は生まれながらに自由、平等である

フランス

④\_\_\_\_\_：「法の精神」で⑤\_\_\_\_\_を唱える。

⑥\_\_\_\_\_：「⑦\_\_\_\_\_」社会契約説と人民主権を主張。

### <イギリスの革命>

16世紀のイギリス

①\_\_\_\_\_：国王が貴族をおさえて絶対的な権力を持つ。

\* 国民に重い税金、信仰の自由を認めない → 議会と対立

1640年 ②\_\_\_\_\_革命 (クロムウェルが中心)

国王が処刑されて③\_\_\_\_\_がしかれる。

政権を握ったのはクロムウェル ← 独裁政治で不満を持たれる

クロムウェル死後、王政復活

1688年 ④\_\_\_\_\_革命がおこる

\* 議会が無血で国王を追放。議회를尊重する国王をたてる。

⑤\_\_\_\_\_を制定

◇ 国王は議会の承認なしに法律を停止することはできない。

◇ 議会における言論の自由は守らなければならない。

## 歴史プリント

⑥ \_\_\_\_\_ が確立 ←国王は君臨<sup>くんりん</sup>すれども統治せず。

### <アメリカ合衆国の独立>

北アメリカ : 17世紀初め頃から① \_\_\_\_\_ の植民地に

☆ 先住民の土地を奪い、アフリカから連れてきた国民を奴隷<sup>どれい</sup>にしていた。たばこや綿花を栽培

18世紀中頃 13の植民地をイギリスが作る

➤ 植民地と他国の貿易を制限

➤ 植民地に重税を課す

植民地の人々が独立を求めて立ち上がる！

1773年 ② \_\_\_\_\_ 事件

☆ 新しい茶税に反対して茶を海に投げ捨てる。

1775年 ③ \_\_\_\_\_ 戦争 (④ \_\_\_\_\_ が総司令官)

\* イギリスと対立していた⑤ \_\_\_\_\_ が援助

1776年 ⑥ \_\_\_\_\_

「すべての人間は平等生命、⑦ \_\_\_\_\_、幸福の追求」

④が初代大統領

合衆国憲法の制定 人民主権、連邦制、三権分立

### <フランス革命>

17世紀後半のフランス 絶対王政

身分による貧富の差

● ① \_\_\_\_\_ (僧) と貴族 : 免税の特権を持つ

● 平民 : 重い税に苦しめられる

民衆の不満が爆発！

1789年 ② \_\_\_\_\_ 襲撃<sup>しゅうげき</sup>事件 ←革命のきっかけ

## 歴史プリント

### フランス革命

③ \_\_\_\_\_ を発表 「人間は生まれながらに④ \_\_\_\_\_ で平等な権利を持つ」

王政を廃止、共和国に 国王ルイ 16世は処刑

周りの国々：革命の影響が及ぶのを恐れてフランスに攻め込む

\* 防戦するも情勢は不安定に

↑ 軍人 ⑤ \_\_\_\_\_ が政権を握る。\* 革命の理論を広める

1804年 ⑤がフランス皇帝に 一時はヨーロッパの大部分を征服

### < 産業革命 >

17世紀～ ヨーロッパでは軽くて美しい① \_\_\_\_\_ 産の綿布が好まれる

↑ イギリスの貿易は輸入で赤字に 対抗するために自国で作ろう！

18世紀後半 <sup>ぼうせきき</sup>紡績機や綿機が発明、改良

↑ ② \_\_\_\_\_ 革命の始まり

ワット ③ \_\_\_\_\_ の改良

工場制手工業 → ④ \_\_\_\_\_ 工業

19世紀 イギリスは「⑤ \_\_\_\_\_」と呼ばれる

資本を持つものが労働者を雇って利潤第一に経営する→⑥ \_\_\_\_\_ の経済へ

影響：物が豊かになり、生活は便利に。都市は発達

労働者は低賃金で長時間の労働

→ 貧富の差、労働災害、公衆衛生をめぐる社会問題に

労働者：労働の改善を求める⑦ \_\_\_\_\_ を結成

資本主義の批判→ ⑧ \_\_\_\_\_ の考え方が生まれる ⑨ \_\_\_\_\_、エンゲルス

### < アメリカの南北戦争 >

アメリカでは北部と南部が対立

## 歴史プリント

北部：工業の保護で輸入品に高い関税、工場労働者確保のため黒人奴隷を解放したい。

南部：綿花を輸出するため高い関税反対。奴隷制度は守りたい。

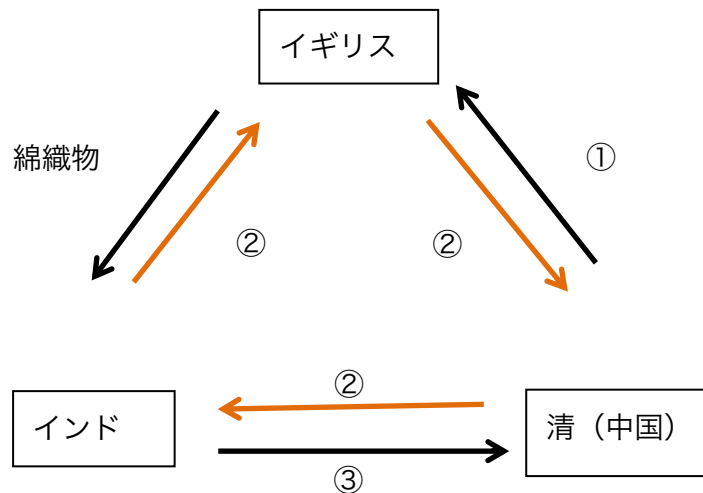
1861年 ① \_\_\_\_\_ 戦争

北部出身の大統領 ② \_\_\_\_\_ が③ \_\_\_\_\_ 宣言

演説：「④ \_\_\_\_\_ の④による④のための政治」

### <ヨーロッパのアジア侵略>

イギリス、清、インドの三角貿易



イギリスは清から① \_\_\_\_\_、\_\_\_\_\_ を輸入し、中国へは綿織物などを輸出したが思うように売れなかったため、差額を② \_\_\_\_\_ で支払った。

中国へ支払う②が不足したため、インドへ綿織物などの工業製品を売り込み、インドで作らせた③ \_\_\_\_\_ を中国へ密輸で売り込んで利益をあげた。

清：アヘン患者が増える、貿易赤字も増える →アヘンの輸入を禁止

↓イギリスこれに怒って軍艦を送る

1840年 ④ \_\_\_\_\_ 戦争

産業革命で軍事力が強くなったイギリスが圧勝！

## 歴史プリント

1842年 ⑤ \_\_\_\_\_ 条約

- イギリスは清から⑥ \_\_\_\_\_ を譲り受ける
- イギリスの⑦ \_\_\_\_\_ 権
- 清の⑧ \_\_\_\_\_ を認めない

↓ 賠償金ばいしょうきんの支払いなどで農民は重税で苦しむ

1851年 ⑨ \_\_\_\_\_ の乱 指導者：⑩ \_\_\_\_\_

反乱軍は⑨という国を建てる

→反乱は14年がかりでおさえられる

1857年 ⑪ \_\_\_\_\_ 大反乱

イギリスの⑫ \_\_\_\_\_ 会社に雇われていたインド兵が反乱

→農民なども加わり全国に広がる

反乱はイギリスによって抑えられ、植民地化が進む

## 歴史プリント

### 解 答

---

\*表記法は教科書で確認してください。

#### <近代の思想>

- ① オランダ ② フランス ③ ロック ④ モンテスキュー ⑤ 三権分立  
⑥ ルソー ⑦ 社会契約論

#### <イギリスの革命>

- ① 絶対王政 ② ピューリタン ③ 共和制 ④ 名誉<sup>めいよ</sup> ⑤ 権利章典  
⑥ 立憲君主制<sup>りっけんくんしゅせい</sup>

#### <アメリカ合衆国の独立>

- ① イギリス ② ボストン茶会 ③ 独立 ④ ワシントン ⑤ フランス  
⑥ 独立宣言 ⑦ 自由

#### <フランス革命>

- ① 聖職者<sup>せいしよくしや</sup> ② バスチーユ牢獄<sup>ろうごく</sup> ③ 人権宣言 ④ 自由 ⑤ ナポレオン

#### <産業革命>

- ① インド ② 産業 ③ 蒸気機関 ④ 工場制機械 ⑤ 世界の工場  
⑥ 資本主義 ⑦ 労働組合 ⑧ 社会主義 ⑨ マルクス

#### <アメリカの南北戦争>

- ① 南北 ② リンカーン (リンカン) ③ 奴隷解放<sup>どれいかいほう</sup> ④ 人民

#### <ヨーロッパのアジア侵略>

- ① 茶、絹 ② 銀 ③ アヘン ④ アヘン ⑤ 南京<sup>なんぎん</sup>  
⑥ 香港<sup>ほんこん</sup> ⑦ 領事裁判 ⑧ 関税自主権 ⑨ 太平天国<sup>たいへいてんごく</sup> ⑩ 洪秀全<sup>こうしゅうぜん</sup>  
⑪ インド ⑫ 東インド